

令和3年度 地方創生推進交付金活用事業について

1. 交付金の概要

【交付金の名称】

地方創生推進交付金

【事業概要】

地方版総合戦略に基づく、地方公共団体の自主的・主体的で先導的な事業を支援するもの

【対象事業】

地方創生の深化の裾野を広げる取組

<具体例>

しごと創生(中小企業等の生産性向上、空き店舗対策、観光振興等)、地方への人の流れ(生涯活躍のまち、移住促進等)、働き方改革(若者雇用対策、ワークライフバランスの実現等)、まちづくり(小さな拠点等)

【資金の流れ】

国 $\xrightarrow{\text{交付金(1/2)}}$ 地方公共団体

【事業実施数及び交付実績額】

採択事業 : 7事業

交付決定額 : 267,028,000円

2. 実績の評価

- ・PDCAサイクルにより事業を推進するため、毎年度、外部組織による効果検証を実施することとされている。

■評価対象事業一覧

交付金の名称	交付対象事業の名称	事業の概要(令和3年度)	総事業費(円)	交付決定額(円)
1	人材確保力向上・人材育成重点プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者向けのセミナーや合同就職面接会の実施 ・多様な働き方の導入啓発のためのセミナー開催や、個別企業のハンズオン支援のためのアドバイザー派遣 ・市内企業の新たなビジネスモデルの構築や実証実験への支援 ・子育て女性向けのセミナー開催 ・企業向け働き方改革推進セミナーの開催 	8,463,630	7,931,000
		<ul style="list-style-type: none"> ・山口県中央連携都市圏域7市町で開催する「山口ゆめ回廊」における圏域での一体的な取組の実施 ・インバウンド誘客に向けた受入体制の強化や情報発信、オンラインによる海外との交流イベントの実施 ・圏域の周遊促進や滞在消費喚起に向けたイベント開催や周遊バスの運行 	171,449,632	85,000,000
		<ul style="list-style-type: none"> ・地域ブランド創出の推進(「阿東地域特産品関係ネットワーク会議」の活動の推進) ・既存資源の付加価値化(資源や自然、文化財等のブラッシュアップまたは新開発)について、支援または開発委託の実施 ・道の駅長門峡を起点とした交流人口の増加、地域内周遊促進のための取組の実施(周遊促進イベントの実施、プロモーションビデオ制作) 	10,700,560	5,466,000
		<ul style="list-style-type: none"> ・職業理解・企業見学フェアの開催、大学生向け地元企業の動画作成・情報発信 ・小学生対象の職業体験イベントの開催 ・圏域内中小企業の課題対応のための合同セミナー開催や専門家派遣、圏域の支援プラットフォームの構築・運営、支援コーディネーターの配置 ・戦略的なジセイセールの要素を含めた情報誌の発行 ・県外の若者に向けた移住や就業、起業創業の情報発信を図るオンラインセミナーの開催 	81,860,622	43,900,000
		<ul style="list-style-type: none"> ・次世代型スマートホールの運営(開館及びグランドオープンを記念したイベントの連発的な実施) ・産業交流スペースを活用した起業・創業支援、中小企業支援(DX導入、事業承継、新事業創出の促進) ・AI技術等の活用によるヘルスケア関連産業創出事業に係る県への負担金(「やまぐちヘルスケア関連産業推進協議会」の運営) ・アカデミーハウス次世代人材育成推進事業(人材育成プログラムの実施、利用者へのフォローアップ) ・新たなモビリティサービス調査・実証事業 	172,847,034	85,000,000
		<ul style="list-style-type: none"> ・遊休不動産の活用に向けた建物状況調査等への支援 ・中心商店街の事業者を対象とした「稼ぐ力」の向上につながるセミナー等の開催 ・中心商店街内の空きスペースを活用した地域の特産品等の情報発信や子ども向けのイベント等の実施 ・中心商店街での「創業体験」が可能なチャレンジショップの開設 ・新たな来街者を呼び込むための情報発信やイベント開催への支援 	53,749,491	29,731,000
		<ul style="list-style-type: none"> ・地域と企業をつなぐ公民連携プラットフォームの構築に向けたワークショップの開催、情報発信ツール開発の検討 ・レノファ山口のパブリックビューイング等を通じた全世代交流事業の実施 ・企業と連携した市民の健康づくり事業の実施 ・地域への愛着醸成に向けたレノファ山口との連携によるご当地キャラクターの作成 	20,050,000	10,000,000
2	合計		519,120,969	267,028,000

地方創生推進交付金及び地方創生拠点整備交付金事業報告書
(令和3年度実施分)

交付対象事業の名称(地方創生推進交付金事業)	担当課	頁
1 人材確保力向上・人材育成重点プロジェクト	-	1
・人材確保企業重点支援事業	ふるさと産業振興課	
・特定求職者雇用促進事業	ふるさと産業振興課	
・地域中核企業成長促進事業	ふるさと産業振興課	
・働き方改革推進事業	ふるさと産業振興課	
2 山口県央連携都市圏域「山口ゆめ回廊」で育む観光圏域づくり	-	5
7市町の個性をつなげる一体的な取組体制構築事業	観光交流課	
・インバウンド誘客事業	観光交流課	
・周遊促進及び滞在消費喚起事業	観光交流課	
3 道の駅「長門峡」を交流の核とした阿東地域ふるさとにぎわいプロジェクト	-	14
・道の駅長門峡管理運営業務	阿東総合支所 農林課	
・中山間地域資源利活用事業	定住促進課	
・中山間地域野菜増産モデル事業	阿東総合支所 農林課	
・観光維新ブランド創出事業	観光交流課	
4 未来に羽ばたく若者定住促進プロジェクト	-	16
・就職支援事業	ふるさと産業振興課	
・子どもの就業体験支援事業	ふるさと産業振興課	
・小郡がつながる・つなげる交流促進事業	小郡総合支所 地域振興課	
・UJIターン就労支援事業	定住促進課	
・子ども芸術体感事業	学校教育課	
・雇用対策事業	ふるさと産業振興課	
・事業承継支援事業	ふるさと産業振興課	
・市内企業のDX促進事業	ふるさと産業振興課	
・人材確保企業重点支援事業	ふるさと産業振興課	
・シティセールス推進事業	企画経営課	
・若者による市の魅力発信事業	広報広聴課	
・やまぐち定住実現プロモーション事業	定住促進課	
5 域外から稼ぐ力を生み出す「新たな産業・交流拠点」づくり推進事業	-	21
・産業交流拠点施設管理運営事業	ふるさと産業振興課	
・産業交流スペース管理運営事業	ふるさと産業振興課	
・デジタル技術活用・人材育成事業	ふるさと産業振興課	
・新たなモビリティサービス調査・実証事業	交通政策課	
・シェアサイクル実証事業	交通政策課	
6 次世代へつなぐ商店街づくり加速化プロジェクト	-	25
・中心市街地維持・再生支援事業	中心市街地活性化推進室	
・中心商店街稼ぐ力向上支援事業	中心市街地活性化推進室	
・中心商店街情報発信事業	中心市街地活性化推進室	
・多様性あふれる商店街推進事業	中心市街地活性化推進室	
・まちなかクリエイティブフィールド事業	中心市街地活性化推進室	
・ヤマグチブランド創出事業	中心市街地活性化推進室	
・まちなか起業創業促進事業	中心市街地活性化推進室	
・中心商店街賑わい創出事業	中心市街地活性化推進室	
7 人生100年時代を楽しむ21の幸せ地域拠点づくり ～「リーグクラブ「レノファ山口」のつなぐ力でスマート”ライフ”シティづくり～	-	29
・地域と企業をつなぐ公民連携プラットフォームの構築	湯田温泉パーク整備推進室	
・レノファ山口PV開催等による全世代交流事業の実施	湯田温泉パーク整備推進室	
・企業と連携した健康づくり事業の実施	湯田温泉パーク整備推進室	
・21地域ご当地レノ丸作成を通じた地域への愛着の醸成	湯田温泉パーク整備推進室	

人材確保力向上・人材育成重点プロジェクト

1 事業の概要

所管課	商工振興部ふるさと産業振興課	計画期間	平成31年4月 - 令和4年3月
交付金の種類	地方創生推進交付金	単独事業と 広域事業の別	市単(山口市)
政策目標	誰もが安心して働くことのできる「しごと」をつくる	政策目標	
具体的な施策	産業活力・地域雇用を創出する「働く・起業なら山口」	具体的な施策	
具体的な取組	多様な働き方の創出による人材確保	具体的な取組	
政策目標		政策目標	
具体的な施策		具体的な施策	
具体的な取組		具体的な取組	
事業の概要(目的)		事業実施の状況	
<p>高齢者を対象としたセミナー・合同就職面接会や、働き方改革セミナー等の実施、地域未来牽引企業についての情報発信や新たな地域中核企業の掘り起こしを行うことにより、中小企業の人材確保力の向上、中小企業の生産性向上・人材育成による経営基盤の強化、働きやすい職場の形成や多様な働き方の推進を図る。</p>		<p>(1)中小企業の人材確保力の向上 ・高齢者向けのセミナーや合同就職面接会の実施 ・多様な働き方の導入を啓発するセミナー開催や個別企業のハンズオン支援のためのアドバイザー派遣の実施 ・企業の採用情報の集約や企業の魅力発信など、人材確保のサポートとなるサイトを運営 ・中小企業団体等の業界団体に対して、構成員企業の抱える雇用課題の全体的な解決につながる取組に必要な経費の一部を補助 ・地元中小企業に対して、従業員の仕事に必要なスキル習得やリカレント教育の導入に係る研修費用の一部を補助 ・障がい者雇用に係る理解促進を図るセミナーの開催 (2)中小企業の生産性向上・人材育成による経営基盤の強化 ・市内企業の新たなビジネスモデルの構築や実証実験への支援 (3)働きやすい環境の形成や多様な働き方の推進 ・子育て女性向けのセミナー開催 ・企業向け働き方改革推進セミナーの開催 ・外国人労働者の受入にかかるセミナーの開催</p>	
事業の概要(経費内訳)			
<p>人材確保企業重点支援事業(2,942千円) 特定求職者雇用促進事業(350千円) 地域中核企業成長促進事業(2,376千円) 働き方改革推進事業(2,795千円)</p>			

2 本事業における重要業績評価指標(KPI)の達成状況

(1)KPIの達成状況

KPI項目		単位	事業開始前	実績値(増分) (令和2年度)	実績値(増分) (令和3年度)	目標値(増分) (令和3年度)
①	支援事業を通じた参加企業の人材確保(雇用数)	人	0	2	0	20
②	支援事業を通じた新規就業者数(高齢者・女性・障がい者)	人	0	17	25	10
③	支援事業を通じて生産性向上や人材確保、職場環境の改善等に取組んだ参加企業の割合	%	0	-10	2	10
④	支援事業を通じて就職活動を開始した子育て女性等参加者の割合	%	0	-4	9	15

(2)評価

本事業の実施状況について			
事業効果	本事業は地方創生に効果があった。	理由	高齢者や子育て女性、障がい者、外国人労働者などの多様な人材を雇用する職場環境の見直しやIoTやAIによる業務内容の改善など企業の受入体制に係る啓発を行い、マッチング機会を創出することで雇用の創出や地域経済の活性化が図られた。
実績値を踏まえた事業の今後について			
今後の方針	事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる。	理由	働き方改革など働きやすい職場環境の整備や多様な人材の受入れのための業務の棚卸などを通じて中小企業の人材確保に係る体制整備を行うとともに、IoTやAIを活用した生産性の向上や経営基盤の強化を図ってきた。来年度においても中小企業のニーズに合わせて継続・発展的に実施していく。

人材確保力向上・人材育成重点プロジェクトの概要

<中小企業の人材確保力の向上>

●人材確保企業重点支援事業

・人材確保力向上に係るセミナー開催と、従業員の定着のためのスキル等習得補助金の交付など

アクティブシニア向け就職面談会、誰もが働きやすい職場環境づくりの啓発セミナーを開催し、多様な人材活用を促す支援を実施した。

企業向けの外国人材受入促進セミナーでは、今後受入を考えている企業が外国人材雇用にあたって必要な知識を習得し、受け入れ体制を整えるための啓発セミナーを開催した。

人材確保のためのサイト事業では、「やまぐちごと応援サイト」のコンテンツの充実のため、求職者向けに企業紹介動画等の公開や、企業向けセミナー・補助金情報の発信を行うことで市内企業の人材確保を後押しした。

人材確保応援補助金では、協同組合等の中小企業団体が主体となる業界ごとの人材確保につながる取組に対して補助金を交付した。

また、新たな取組として、中小企業の社員が、業務上必要なスキル習得やリカレント教育などの研修等を受ける際に、企業に対して費用の一部を補助することで、市内の中小・零細企業の従業員の育成や定着を支援した。

【各種セミナー・就職面談会】開催数:計3回、41社参加

【人材確保応援補助金】交付件数:中小企業団体1団体

【中小企業人材育成応援補助金】交付件数:6件

●特定求職者雇用促進事業

・障がい者雇用に係るセミナーの開催

障がい者と企業の相互理解を深め、市内企業の障がい者雇用の受入促進のためのオンラインセミナーを開催。社員の過半数が障がい者である企業の事例を学び、障がいをもつ従業員がそれぞれの個性を生かしながら働き続けられるよう、各企業での取組を促進した。

【開催回数】1回 【参加人数】21社21名

企業向け 障がい者雇用セミナー 第3弾
Zoomで実施! オンラインセミナー

多くの企業や労働団体が掲載されている「西部ガス株式会社(ばんぐう株式会社)」、社員数28名のうち15名が障がい者で、売上高は1億6,000万円、毎年黒字を確保。同社、代表取締役社長及びリーダー社員(障がい者社員)を講師に招き、「障がい者社員が戦力となってイキキと働くための3つのポイント」を学びます。

講師	講師	アドバイザー
船越 哲朗氏	大蔵 健司氏	三浦靖一郎氏

■スペシャルゲスト
障がい者雇用推進課 生活支援センター デパール / 百原美鈴氏
企業社会保険労務事務所 伊藤仁博氏

開催日 2022年 1月19日(水)
14:00~15:30
15:30~16:00
※15:30~16:00は質疑応答時間

会場 Zoom

参加費 無料

お申し込み 右のQRコードから (締め切り:1月18日(土))
※お申し込みは必ずお名前・メールアドレスを記載してください。

お申し込み先 株式会社モンシエール
TEL:083-992-7808 画 文 E-mail: hiroko@monsier.com

主催/山口市経済産業部ふるさと産業振興課

障がい者が戦力となってイキキと働くための3つのポイント
参加費 無料!!

<中小企業の生産性向上・人材育成による経営基盤の強化>

●地域中核企業成長促進事業

- ・地域未来牽引企業についての情報発信及び新規事業や新たな地域中核企業の掘り起こし

地域経済の発展を牽引していく中核的な企業として経済産業省より選定を受けた市内の地域未来牽引企業7社について、広域的な周知 PR やブランディングによる企業価値の向上、企業同士の連携強化を目指し、市内各所での企業紹介や、対象企業に向けたセミナー開催等を行った。

また、地域未来牽引企業へのヒアリング及びコンサルを実施し、企業課題や社会課題の解決につながる新規事業の創出を図った。

【企業紹介】市内各所への展示 3回

【セミナー開催】1回

【ヒアリング及びコンサル】各社 1回

地域未来牽引企業



<働きやすい職場環境の整備や多様な働き手の掘り起こし>

●働き方改革推進事業

- ・企業向けの働き方改革セミナーの開催

企業向けセミナーでは、長時間労働や人材の離職を防ぐための働き方改革を進めるにあたり、「働く人」の意識を前向きに変えることで「働き方」を変えていくという目的で、主に県央連携都市圏域内の中小企業を対象として、基調講演及び体感理解型研修を計4回開催した。(後日動画視聴可)

また、研修で顕在化した自社の課題を更に深掘りし、解決するための専門家との個別相談会を開催し、自社での取組の進捗報告会を開催した。

【チェンジリーダー研修】参加企業数:延べ38社、56名
個別相談会:5社

- ・ 子育て女性向けの就労意識啓発に係るセミナー、及び女性の採用に積極的な企業との交流会の開催

・子育てなどの理由で一時的に離職している、もしくは未就労の女性を対象に、就労意欲の醸成や、仕事と家庭の両立を目的としたワークショップを開催した(オンライン開催)。

また、その後、女性の採用や活躍に積極的な企業との交流会を開催し、気軽に意見交換できる機会を提供することで、様々な働き方や地元企業を知ってもらうと同時に、企業と女性との就労のマッチングを図った。

【子育て女性等向けセミナー】参加者5名

【働きたい女性と企業の交流会】参加女性10名、参加企業6社

令和3年度 山口市人材確保企業支援事業

子育て女性向け
働きやすい参加企業の
紹介や特設研修ける!

情報交換だけでできる
就活仲間に出会える!

**働きたい女性と
地元企業との
交流会**

参加者募集!!

気軽な雰囲気の中で、さっくばらんに
企業と交流しましょう!

採用意欲は高くても
採用枠に合いません

採用意欲は高くても
採用枠に合いません

参加無料

開催日 2022年 **3月3日(木)**
10:00~12:30 (受付9:30~)

会場 **KDDI維新ホール2階**
(山口市小瀬台1-1-1)

対象 **働くことを
考えている女性 等**

参加企業 **子育て女性の就業・就労に
協力的な地元企業* 5社程度**

定員 **20** 人程度

**★お子様連れでの
参加も可能です!**

※参加費 参加費 無料 (税別) 1000円~1500円
※参加費は別途お支払いとなります。

※注 趣向的仕立を十分行った上で開催しますが、趣向に代りて新卒の採用枠が空いた人だけが参加する
など、参加時に都合が合わない場合は、参加費を返金するものではありません。

●主催/山口市 ●協力/山口公共職業安定所 ●事務局/株式会社日本マンパワー(山口)ことセンター(指定調整)

お問い合わせ・お申込み先は、チラシ裏面をご覧ください。☺

山口県央連携都市圏域「山口ゆめ回廊」で育む観光圏域づくり

1 事業の概要

所管課	交流創造部観光交流課	計画期間	平成31年4月 - 令和4年3月
交付金の種類	地方創生推進交付金	単独事業と 広域事業の別	広域 (山口市、宇部市、萩市、防府市、美祿市、 山陽小野田市、島根県津和野町)
政策目標	山口の魅力に磨きをかけ、新たな「ひと」の流れをつくる	政策目標	
具体的な施策	山口の個性を高め暮らしを楽しむ「文化・観光・スポーツなら山口」	具体的な施策	
具体的な取組	おいでませ山口・観光地域づくり	具体的な取組	
政策目標		政策目標	
具体的な施策		具体的な施策	
具体的な取組		具体的な取組	
事業の概要(目的)		事業実施の状況	
<p>山口県央連携都市圏域を構成する7つの市町(連携中枢都市である山口市・宇部市、及び連携市町である萩市・防府市・美祿市・山陽小野田市・島根県津和野町)においては、広域での観光資源のネットワーク化を行う方向性のもと、当該圏域内の魅力を圏域内外に強力にアピールし交流人口の拡大・交流効果の最大化に向けたオープンエリア型の周遊型博覧会を2021年に開催することとしている。市町の垣根を越えた連携による一体的な取組体制を構築し、圏域市町の強みを活かした効果的な圏域の面的な集客戦略を推進する。</p>		<p>◇7市町の個性をつなげる一体的な取組体制構築(山口市会場の主な取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> 山口ゆめ回廊博覧会オープニングイベント「こんにちは、ゆめはく」 ユニークベニューYumehakuArt&FoodinRURIKOUJI 「Osmosis 滲透」朝時茶 リアル宝探しゲーム「ななゆめ調査団」 7市町ひかりの実 7市町の観光資源を巡る山口ゆめ回廊モニターツアーの開催 等 <p>山口ゆめ回廊博覧会(7月～12月)参加者数計:延べ655千人</p> <p>◇インバウンド誘客事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 外務省「地域×世界」～未来へつなげる特別交流イベント～参加 インバウンド対応能力向上研修の実施 「山口セタちようちん」を生かした魅力創出・発信 インバウンド(英語圏)誘客に向けたプロモーション事業 等 <p>◇周遊促進及び滞在消費喚起事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 山口ゆらめき回廊開催 観光周遊1日乗車券事業 新山口駅における県央7市町観光PRイベントの開催 12月。山口市はクリスマス市になる事業補助 ゆう太ポストラッピング事業 等 	
事業の概要(経費内訳)			
<ul style="list-style-type: none"> 7市町の個性をつなげる一体的な取組体制構築事業(87,980千円) インバウンド誘客事業(13,023千円) 周遊促進及び滞在消費喚起事業(70,448千円) 			

2 本事業における重要業績評価指標(KPI)の達成状況

(1)KPIの達成状況

KPI項目		単位	事業開始前	実績値(増分) (令和2年度)	実績値(増分) (令和3年度)	目標値(増分) (令和3年度)
①	交流人口(観光客数)	人	14,884,000	-4,664,741	-4,748,752	555,000
②	外国人観光客数	人	195,000	-252,836	-186,883	27,000
③	観光消費額単価	円/人・回	30,327	-4,358	-10,463	3,670

(2)評価

本事業の実施状況について			
事業効果	本事業は地方創生に相当程度効果があった。	理由	新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、事業の中止、縮小を余儀なくされる中、7市町の連携のもと、感染拡大防止と地域経済活動の両立に向け、十分な感染拡大防止対策を講じての事業実施に取り組んだ。その結果、2021年の観光庁宿泊旅行統計調査における都道府県別宿泊客室稼働率は、山口県は48.1%と、全国で2番目の稼働率を記録するなど、交流人口の下落幅の抑制が図られた。また、7市町において広域連携による観光誘客のメリットが共有され、今後の更なる連携強化に向けた意識が醸成された。
実績値を踏まえた事業の今後について			
今後の方針	事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる。	理由	県央周遊型博覧会「山口ゆめ回廊博覧会」の取組をレガシーとして継承し、ウィズコロナにおいても、地域経済活動を停滞・停止させることのない、新たな生活様式や旅行スタイルを踏まえた広域観光の展開を目指す。第2期山口県央連携都市圏域ビジョンを踏まえ、マイクロツーリズムの推進を図りつつ、R7年の大阪・関西万博を見据え、広域連携のメリットを生かしながら国内大都市圏と海外誘客に取り組み、持続可能な観光地域づくりを進める。

【令和3年度取組実績】

「山口県央連携都市圏域「山口ゆめ回廊」で育む観光圏域づくり」の概要

<7市町の個性をつなげる一体的な取組体制構築事業>

●周遊型博覧会を通じた広域連携体制づくり事業

山口県央連携都市圏7市町における「山口ゆめ回廊博覧会」の開催。(博覧会会期:7月1日~12月31日)

・山口ゆめ回廊博覧会オープニングイベント

「こんにちは、ゆめはく！」

7月3、4日 来場者数:17,000人 会場:新山口駅北口交通広場・KDDI 維新ホール



新山口駅北口交通広場・KDDI 維新ホールで、『オープニングイベント「こんにちは、ゆめはく！」』を開催。

本イベントは、圏域内在住のチェーンソーアーティスト・林 隆雄や、美術家の曾谷朝絵らアーティストが博覧会のシンボル作品を展示したほか、博覧会の参加アーティストらによるトーク、音楽ライブ、ワークショップ、圏域内の事業者によるマルシェなどを実施。多くの来場者と博覧会の開幕を祝うとともに、圏域内の美しい伝統・文化や自然、食などを広く発信することを目的に開催。



【シンボル作品展示】

『鳴る色(Ringing Color)』曾谷朝絵

設置期間:7月1日~12月31日

※2022年12月末まで展示期間延長

設置場所:新山口駅北口交通広場



撮影: SatoruEMOTO, SARUTO Inc.

『ゆめの宝船』林隆雄

設置期間:7月1日~12月31日

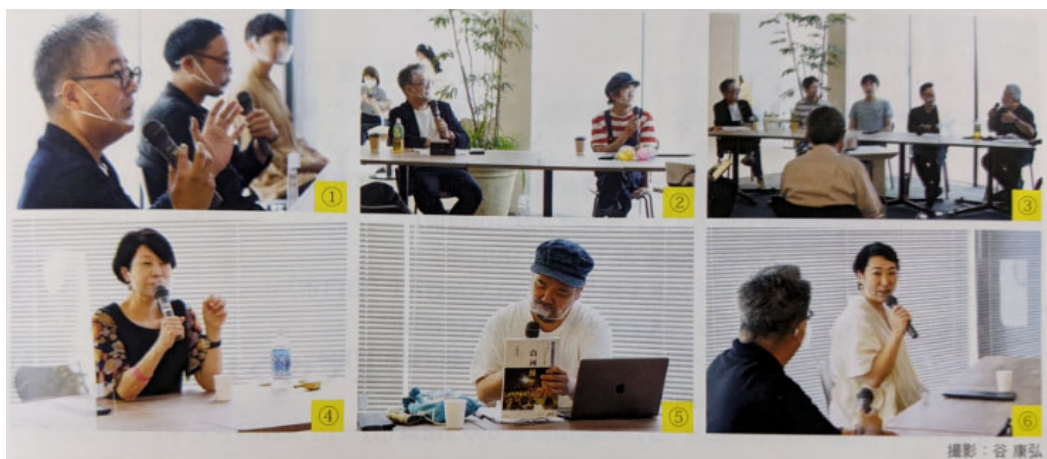
設置場所:新山口駅北口交通広場

※2022年2月より「道の駅長門峡」へ移設



撮影: SatoruEMOTO, SARUTO Inc.

・ゆめはくトーク:7月3,4日 会場 KDDI 維新ホール(メグリバカフェ)



・音楽ステージ:7月3,4日 会場 新山口駅北口交通広場・KDDI 維新ホール



・マルシェ&ワークショップ:7月3,4日 会場 KDDI 維新ホール



・ユニークベニューYumehakuArt & Food in RURIKOUJI

「Osmosis 滲透」、「朝茶事(あさちゃじ)」

会場:香山公園(瑠璃光寺五重塔・満月の庭周辺)

日時:10月22日~24日 18:00~ 10月25日、26日 6:30~ 8:30~ 10:30~

参加人数:180名(5日間合計)

山口市内の特別な場所(ユニークベニュー)を会場に、アートと食を通じて圏域を表現することにより、圏域の新たな魅力を国内外に発信する取組。

国内外で活躍するアーティスト「船越雅代」によるパフォーマンスや圏域内の選りすぐりの食材を用いた料理、工芸品を取り入れた「地域×食×アート」が融合した本イベントは、圏域の新たな魅力を広くアピールし、地域観光の促進に寄与した。



・山口ゆめ回廊地域通訳案内士育成

案内士登録件数:70名(累計)

(英語47名、スペイン語6名、中国語12名、韓国語5名)



●広域周遊プログラム

リアル宝探しゲーム「うちら！ななゆめ調査団」

本プログラムは、参加者が実際にまちを歩き、謎を解いて隠された宝を探し出す回遊イベント。

圏域各市町の歴史的背景や地域資源を取り入れながら、ストーリーコンセプトを制作。県内外からファミリー層を中心に多くの人々が参加することにより、既存の観光資源や地域資源を活用した魅力を圏域内外へ訴求するとともに、宝探しの設置ポイントやヒント提供店を設定することで、地元店舗への来店を促進し、地域の方と参加者との交流も生まれた。

実施期間:7月3日~12月26日

※中断期間:8月30日~9月26日(全エリア)

参加人数:62,299人



●ゆめ散歩造成

本事業は、7市町の魅力再発見の機会創出と将来的には体験プログラムを活用したインバウンド誘客につなげることを目的に、各地域の豊かな自然や歴史文化、産業、食などの多様な地域資源を活用したまち歩きプログラムを造成。

博覧会開催期間中、「普段は入れない場所」や「ユーモア溢れる名物ガイド」など、特別感のあるその地ならではの「プレミアムプログラム」を造成するとともに、これまで各市町で実施されてきた「まち歩き」や「体験プログラム」を加え、62の圏域内着地型プログラムを「ゆめ散歩」ブランドとして事業展開を図った。



●7市町のひかりの実 実施期間:7月3日~1月16日

アーティスト・高橋匡太による参加型アートプロジェクト。果実袋に大切な人の「えがお」を描き、その中にLEDの小さな光を入れてふくらませ、樹木に取り付けることで「ひかりの実」となる。

圏域7市町の10,000人が協力して「ひかりの実」を制作。7つの市町のつながりを強く意識できるプロジェクトとなった。



●7市町の観光資源を巡る山口ゆめ回廊モニターツアーの開催

山口ゆめ回廊博覧会開幕を記念して、オープニングイベントの開催中の新山口駅を発着する DL やまぐち号の貸切による「7市町7つのゆめ回廊の魅力を満喫いただく日帰りツアーを実施。当日は、博覧会をモチーフにしたヘッドマークを装着し、新山口駅での出発式を開催。これから始まる博覧会を盛り上げた。

日程:7月3日(土)

参加者数:103名(応募者数:1,089名)



<インバウンド誘客事業>

●外務省「地方×世界」～未来へつなげる特別交流イベント～参加

新型コロナウイルス感染症対策として渡航制限や対面交流の抑制など、様々な制約が課され、国際交流機会が著しく減少している中、駐日外交団等に向けて地方の魅力や未来につながる地方の国際的取組の紹介を通じて、ポストコロナ時代におけるインバウンド拡大、地方産品の輸出拡大、人的交流の推進に資する諸外国関係者の理解促進、参加者間ネットワークの側面的支援を目的としたイベントへの参加。

参加自治体は、外務省が選定し、山口市と名古屋市の2市が選ばれたもの。

日時:3月22日 16時～

会場:八芳園(東京都港区白金台)



●インバウンド観光誘客推進事業

インバウンド対応能力向上につながる研修会の開催

①ベジタリアン対応に関する研修

山口市内飲食事業者を対象に、アフターコロナを見据えたインバウンド受入環境づくりのため、ベジタリアン向けの食事提供の観点での情報交換会を実施。専門家を交えての情報提供と、市内飲食事業者が実際に店舗で提供しているベジタリアンフードの試食会を行った。

日時:11月8日

会場:セントコア山口

参加者:市内飲食事業者等 25名

②地域の観光人材のインバウンド対応能力強化研修

全国通訳案内士を講師に、専門家が監修したカリキュラムに沿って、英語による接客等のスキルアップを目的に開催。

参加者の英語対応能力に応じて、初級、中級に区分して開催。

【初級】

日時:2月28日 12時30分～15時30分

会場:ホテルニュータナカ

参加者:12名

【中級】

日時:2月27日 13時～16時

会場:KDDI 維新ホール

参加者:16名



●「山口七夕ちょうちん」を生かした山口市魅力創出・発信事業

山口市の夏の風物詩である「日本三大火祭り やまぐち七夕ちょうちん祭り」を観光誘客コンテンツ・夏の観光ブランドとして活用することを目的に、本市の陸の玄関である新山口駅構内に「七夕ちょうちん」を生かした情報発信媒体を設置。

ちょうちん下段には、「山口ゆめ回廊博覧会」開幕記念と「東京 2020 オリンピック・パラリンピック」において、山口市にて事前合宿を行う水泳スペイン代表チームへの応援メッセージを記載。



●台湾誘客に向けたプロモーション事業

マレーシア・シンガポール(英語圏)向けに、市内観光地をまち歩きするオンラインツアーをマレーシア旅行会社と連携実施し、コロナ後の訪問地として、山口市を選んでいただけるよう情報発信を行った。

まち歩き場所:湯田温泉(温泉・食・歴史・女将劇場等)

実施日時:12月18日(土)20:30~21:30 ※マレーシア時間:19:30~20:30

参加者:56名



<周遊促進及び滞在消費喚起事業>

●山口ゆらめき回廊開催

国宝瑠璃光寺五重塔がある山口市香山公園の散策路に約1,000個のキャンドルが灯され、公園全体が幽玄の光に包まれる特別演出イベントを開催。新型コロナ対策をとりながら、ライトアップされた五重塔の下、園内を巡る散策路にキャンドルが揺れる幻想的な景色の演出や、音楽コンサートを開催することで、夜のイベント参加による宿泊客の増とともに交流人口の拡大を図った。

・開催日:10月2日(土)、3日(日)

※9月25日(土)、26日(日)は台風の為中止。

・参加者数:のべ3,465名



●観光周遊1日乗車券事業

湯田温泉から大内文化ゾーンへの周遊観光・2次交通の整備・補完を目的に、ワンコイン(500円)で、コミバス(全区間)と周遊タクシー(瑠璃光寺五重塔・常栄寺雪舟庭・山口市菜香亭)に、1日に何度でも乗り降りできる1日乗車券事業を実施した。

JR山口駅や五重塔前のバス停では、やまぐち菘往還語り部の会会員による案内を行い、おもてなしの向上とともに、周辺施設、店舗の利用促進につながる特典を付与し、観光消費の取込を図った。

・実施期間:9月~12月の土日祝(38日間)

・乗車券販売枚数:244枚(うち県外購入者86枚:東京17件、福岡14件、大阪10件他)



乗車券を見せると お得な特典あり!!

<p>新山口駅 レストラン「新山」の おそば100円引き 11:00~14:00 15:30~17:00 083-920-8880</p>	<p>長崎では 長崎県 そば寿し100円引き [通常は1人前100円、税込1,200円] ※1人前2人前までお楽しみいただけます。 ※1人前2人前までは、お振込にてご決済ください。 083-920-2272 083-920-7575 (予定あり) ※長崎県観光大使館限定</p>	<p>新山口駅 600円以上お買い上げの方に スケッチャー スベキロスッキー 1枚プレゼント 山口駅北口4-22 083-920-2140 083-920-2140 日 11:00~17:00</p>
<p>新山口駅 おそば100円引き 083-920-1227 日 08:30~17:00</p>	<p>新山口駅 おそば100円引き 083-920-1227 日 08:30~17:00</p>	<p>山口ゆめ回廊園域 おそば100円引き 083-920-1227 日 08:30~17:00</p>

山口市観光エリアのお店観光情報は
こちらをご覧ください。
あそびまわランチMAP

山口市全域の観光情報は
こちらをご覧ください。
道の駅やまぐち



●「新山口駅」における県央7市町観光PRイベント実施

本市の陸の玄関である新山口駅北口交通広場を会場に、地元地域との連携のもと、本市の食やイベント等観光PRとともに7市町の観光の要素を組み込んだプロモーションを実施し、広域観光連携によるスケールメリットを生かした誘客促進、認知度の向上を図った。

- ・開催日:3月21日
- ・参加者数:約3,000人



●日本のクリスマスは山口から事業補助

「日本のクリスマスは山口市から始まった」という史実を地域資源として捉え、後世に伝えるとともに、山口市の交流人口の拡大、地域経済への波及効果をもたらす活動を展開する「日本のクリスマスは山口から実行委員会」の取組に対し、補助金を交付。

令和3年度は、「日本のクリスマスは山口から クリスマスイルミネーション点灯式」、旧山口サビエル記念聖堂「シンボルモニュメントの点灯」などが実施された。



●地域資源を生かしたラッピングポスト「ゆう太ポスト」設置

日本郵便㈱との連携のもと、湯田温泉の白狐伝説をモチーフにしたラッピングポスト「ゆう太ポスト」を、湯田温泉地域内6か所に設置。

湯田温泉の特性を生かした魅力発信に取り組んだ。

除幕式:6月30日



道の駅「長門峡」を交流の核とした阿東地域ふるさとにぎわいプロジェクト

1 事業の概要

所管課	阿東総合支所地域振興課	計画期間	令和元年8月 - 令和4年3月
交付金の種類	地方創生推進交付金	単独事業と広域事業の別	市単(山口市)
政策目標	誰もが安心して働くことのできる「しごと」をつくる	政策目標	
具体的な施策	産業活力・地域雇用を創出する「働く・起業なら山口」	具体的な施策	
具体的な取組	農林水産業の経営基盤強化と担い手育成	具体的な取組	
政策目標		政策目標	
具体的な施策		具体的な施策	
具体的な取組		具体的な取組	
事業の概要(目的)		事業実施の状況	
<p>阿東地域の点在する地域資源を地域全体で再確認・再構築・ネットワーク化する活動を通じ、これら地域資源を付加価値化、新しく開発し、道の駅「長門峡」をアンテナショップとして、これらの特産品等の展示・販売や長門峡・その他地域観光資源等の四季折々の情報など、モノと情報を集約し発信することによる、魅力を感じさせる一連の取組をコンセプトとし、大規模リニューアルを行った阿東地域の交流の核である道の駅「長門峡」の交流人口の増加を図るとともに、広大な阿東地域の各所への周遊促進につながる事業を一体的に展開する。</p>		<p>■【資源をつなぐ】取組(地域ブランド創出の推進) 「阿東地域特産品開発ネットワーク会議」の活動の推進</p> <p>■【資源を磨く】取組 既存資源の付加価値化(資源や自然、文化財等のブラッシュアップまたは新開発)について、支援または開発委託を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ●新商品の開発・・・2商品 長門峡梨パイ、徳佐りんごを使用した甘酒 ●地域資源の付加価値化への支援・・・4件 ・長門峡梨パイ・徳佐りんご甘酒の開発 ・キッチンカーを活用した阿東の魅力発信のための商品開発に係る市場調査 ・阿東の「花き」をエディブルフラワーに高付加価値化する商品開発と市場開拓の実証実験 ●野菜増産モデル事業 栽培講習4回、道の駅長門峡までの野菜集荷 <p>■【資源を発信する】取組 道の駅長門峡を起点とした交流人口の増加、地域内周遊促進のための取組を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ●周遊促進イベント「道の駅長門峡2021」の実施 ●阿東地域プロモーションビデオ制作 	
事業の概要(経費内訳)			
<ul style="list-style-type: none"> ・地域ブランド創出の推進(1,500千円) ・地域資源の付加価値化の支援(1,238千円) ・中山間地域野菜増産モデル事業(3,685千円) ・道の駅長門峡イベントプロモーション(2,970千円) ・阿東地域プロモーションビデオ制作(1,100千円) 			

2 本事業における重要業績評価指標(KPI)の達成状況

(1)KPIの達成状況

KPI項目		単位	事業開始前	実績値(増分) (令和2年度)	実績値(増分) (令和3年度)	目標値(増分) (令和3年度)
①	阿東地域の交流人口	人	409,676	-84,162	5,873	11,000
②	道の駅「長門峡」の売上額	円	223,411,649	4,316,534	29,450,848	3,962,000
③	道の駅「長門峡」への野菜出荷件数	件	52,412	-5,377	-2,078	6,000
④	新商品の開発数	件	0	5	2	2

(2)評価

本事業の実施状況について			
事業効果	本事業は地方創生に効果があった。	理由	「阿東地域特産品開発ネットワーク会議」に招聘しているアドバイザーの活用により地域資源の付加価値化(新商品の開発)につながった。また、生鮮野菜の品揃えの充実が図られたことにより、コロナ禍で人流が制限される中で目標は一部下回る結果となったが、事業開始前以上の交流人口と売上の確保につなげることが出来た。
今後の方針	事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる。	理由	本計画は終了となるが、構築された人的ネットワークや商品開発のスキーム等については民間主導に移行し、交流人口の拡大については市の他事業(「関係人口の創出による農山村エリア活性化プロジェクト」)に承継し、交流人口の拡大、関係人口の創出、移住・定住の取組による持続可能な農山村エリアの形成や農林水産業の振興に取組むこととしている。

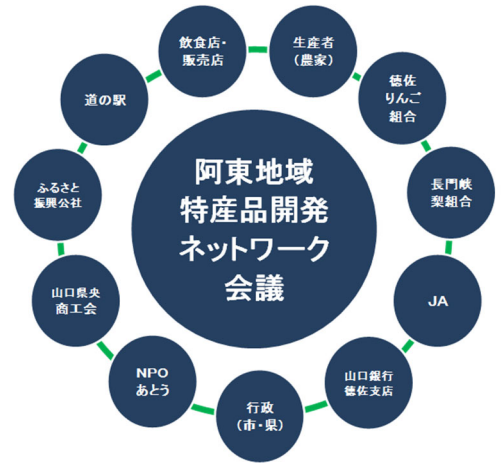
道の駅「長門峡」を交流の核とした阿東地域ふるさとにぎわいプロジェクト

■【資源をつなぐ】取組

◇「阿東地域特産品開発ネットワーク会議」の活動の推進

阿東地域のコミュニティと地域振興を両立したモデルを共に創造するため、各々の課題や情報を共有し、地域住民が主体的かつ持続可能な活動を目指し取組を進める。

地域のモノやヒトなどの個々の地域資源をネットワーク化、共有化を図り、それらを活用し新たな価値の付加等を手掛ける。



現地視察の様子（梨園・嘉年ハイランド）

■【資源を磨く】取組

「阿東地域特産品開発ネットワーク会議」で発案された商品を新しい特産品として開発するなど、「食」に係る資源や自然、文化財等の既存資源の付加価値化、またはブラッシュアップを図り、地域資源の魅力を高める。

◇新商品の開発…2商品



長門峡梨パイ



徳佐りんごの甘酒

◇付加価値化の支援…4件



魅力発信のための商品開発に係る市場調査 ほか

■【資源を発信する】取組

道の駅長門峡を訪れた方の地域内周遊を促進するため、道の駅長門峡でのイベント開催、地域を紹介するプロモーション動画の制作を実施。



道の駅長門峡 2021 の様子



プロモーション動画

未来に羽ばたく若者定住促進プロジェクト

1 事業の概要

所管課	商工振興部ふるさと産業振興課	計画期間	令和2年4月 - 令和5年3月
交付金の種類	地方創生推進交付金	単独事業と 広域事業の別	市単(山口市)
政策目標	誰もが安心して働くことのできる「しごと」をつくる	政策目標	山口の魅力に磨きをかけ、新たな「ひと」の流れをつくる
具体的な施策	産業活力・地域雇用を創出する「働く・起業なら山口」	具体的な施策	協働による「個性と安心の21地域づくり」
具体的な取組	サービス業・商工業の多様な雇用の場づくり	具体的な取組	中山間・南部地域の活力アップ～農山村の振興～
政策目標		政策目標	
具体的な施策		具体的な施策	
具体的な取組		具体的な取組	
事業の概要(目的)		事業実施の状況	
<p>山口県央連携都市圏域の学生を対象とした就職フェア等の開催、県外に進学・就職した学生等への地元企業の情報発信、圏域内の地元企業の魅力を知ってもらうためのイベントを開催することで、地元就職意識の醸成・定着を図る。</p> <p>また、中小企業の事業承継等による就労の受け皿・環境づくりとして、圏域内中小企業の合同セミナーの開催や専門家派遣、圏域の支援プラットフォームの構築・運営等を行う。</p> <p>さらに、企業の魅力や仕事のやりがい、地方での豊かな暮らしを情報発信することで、若者の定住を促進する。</p>		<p>(1) 地元学生への職業観の醸成や地元就職意識の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職業理解・企業見学フェアの開催、大学生向け地元企業の動画作成と発信、小学生対象の職業体験イベントの開催 ・若者に地域活動やまちづくり活動への参加を促進する事業の実施 ・大学生を対象として、就業環境の見学や先輩職員と交流を図る企業訪問事業の実施 ・メディア芸術を中心とした職業観の醸成 ・入社後3年以内の若手社員を対象としたセミナーの開催や、企業全体のボトムアップを図るための経営者やメンター向けセミナーの開催 <p>(2) 中小企業の事業承継等により就労の受け皿づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・圏域内の中小企業の「後継者不足」「人材不足」の課題に対応するための合同セミナー開催や専門家派遣、圏域の支援プラットフォームの構築・運営、専門支援コーディネーターの配置 ・市内企業の経営基盤強化や磨き上げを目的としたDX化を促進するためのセミナー開催及び専門家派遣の実施 ・魅力的で働きやすい企業を目指し、就労に対する職場環境の整備や採用手法の習得に関するセミナーを開催 <p>(3) 企業の魅力や仕事のやりがい、地方での豊かな暮らしを情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本市の暮らしやすさや魅力をわかりやすく伝え、新たに戦略的なシティセールスの要素を含めた情報誌の発行(紙媒体及びweb版での作成) ・大学生に市広報番組等の企画・制作に参加していただき、若者目線で本市の魅力を発見し、市内外へ情報を発信する事業の実施 ・県外の若者に向けて、移住に関する疑問や不安の解消を目的として、本市の住環境や、就業及び起業創業に関する情報を発信するオンラインセミナーを実施。 	
事業の概要(経費内訳)			
<ul style="list-style-type: none"> ・就職支援事業(32,000千円) ・子どもの就業体験支援事業(26,435千円) ・小郡がつながる・つなげる交流促進事業(3,008千円) ・UJIターン就労支援事業(746千円) ・子ども芸術体感事業(962千円) ・雇用対策事業(1,000千円) ・就労の場と雇用を確保する事業承継支援事業(5,452千円) ・市内企業のDX促進事業(4,798千円) ・人材確保企業重点支援事業(500千円) ・シティセールス推進事業(5,435千円) ・若者による市の魅力発信事業(20千円) ・やまぐち定住実現プロモーション事業(1,500千円) 			

2 本事業における重要業績評価指標(KPI)の達成状況

(1) KPIの達成状況

KPI項目		単位	事業開始前	実績値(増分) (令和2年度)	実績値(増分) (令和3年度)	目標値(増分) (令和3年度)
①	就職フェア等の参加者アンケートでの地元企業に就職したい割合(「就職したい」「検討したい」等の肯定的な項目を選択した人数/回答人数)	%	0	86	1	20
②	事業承継・DX化に係る支援件数	件	0	14	15	35
③	「若年UJIターン者移転補助金」交付件数の累計	件	5	0	0	7
④	市内4大学等(山口大学、山口県立大学、山口学芸大学、山口芸術短期大学)の県内就職率	%	36	-2.0	3.0	3

(2) 評価

本事業の実施状況について			
事業効果	本事業は地方創生に効果があった。	理由	KPIの達成状況では、KPI①以外の項目について、新型コロナウイルス感染症の影響もあり目標値を下回ったが、本事業において、若者への地元企業や職業を知る機会の提供・魅力の発信、企業に対する就労の受け皿づくりの支援を通じ、若者の定住促進に向けた機運の醸成につながった。
実績値を踏まえた事業の今後について			
今後の方針	事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる。	理由	若い世代への地元就職に向けた機運の醸成が図られるとともに、コロナ禍における若者の地方移住への関心の高まりを踏まえ、引き続き、取組を進めていく必要がある。

未来に羽ばたく若者定住促進プロジェクトの概要

<地元学生の職業観の醸成や地元就職意識の向上>

●就職支援事業

・中高生向け職業理解・仕事体験イベント「やまぐち未来のしごとフェスタ」開催

山口市内を中心とした連携都市圏域内の中高生等を対象に、魅力ある地元企業の仕事を体験できる機会を提供することで、中高生に働くことの意義を感じてもらうとともに、将来的な地元就職意識の醸成を図ることを目的とした企業集合型職業体験イベントを開催した。また、令和3年度より新たに、企業で働く「人」にフォーカスした仕事紹介動画をウェブページ上に集約したオンライン開催もあわせて実施したことで、より多くの企業・学生の参加が可能となった。

【会場開催】

開催日時: 令和3年11月17日・18日 9:30~16:30

出展企業数: 43の連携都市圏域内企業及び業界団体

参加学校数: 市内中学校18校、市内高校1校、防府市中学校9校
美祢市内中学校1校

来場者数: 3,069名(2日間計)

【オンライン開催】

開催期間: 令和3年9月20日~11月30日

出展企業数: 47の連携都市圏域内企業及び業界団体



・大学生向け web 説明会・情報発信動画の作成

県外に進学・就職した学生等へ地元企業の情報を発信するため、企業紹介動画と仕事体験動画を作成し、YouTube や「やまぐちしごと応援サイト」へ掲載し、県内外問わず幅広く若者の地元就職意識の醸成を図った。

【作成動画数】15社

●若者に地域活動やまちづくり活動への参加・参加を促進する事業の実施

・実行委員会への事業支援

小郡地域ふるさとにぎわい計画「小郡がつながる・つなげるプロジェクト」として新山口駅を中心とした一帯を活用し、多様な交流促進を目的とする実行委員会に対し事業支援を行った。

本事業の活動主体となる実行委員会は、小郡地域内の大学・専門学校の学生、団体、及び市内企業で構成され、令和4年3月に「えきの笑顔まつり」を開催した。

【実行委員会構成団体数】 14団体

【総会・実行委員会の開催数】 7回

【イベントの開催】 1回



●UJIターン就労支援事業

・大学生等を対象としたオンライン企業訪問ツアーの開催

就職を目前に控えた大学生等を対象に山口県央連携都市圏内の企業を見学できるオンラインツアーを開催した。

※当初、バスツアーを予定していたが、コロナウイルスの流行によりオンラインへの代替により開催した。

【見学企業】6社

【参加人数】10名



●山口情報芸術センター(YCAM)学校連携事業

・YCAM教育コンテンツによる学校教育の充実

児童生徒がテクノロジーに興味・関心を持つきっかけ作りとして、地域資源としてのYCAMを訪問する「YCAM 校外学習ツアー」を実施した。

【YCAM 校外学習ツアー実施回数】11回

●雇用対策事業

・職場定着支援セミナーや働き方改革に取り組む企業の紹介・情報発信

職場定着支援セミナーでは、入社後3年以内の若手社員の離職率が高いという課題に対し、地元企業への定着率を上げるとともに、将来の地域を担う若手社員の人材育成を図るため、経営者向け、若手社員向け、入社3年以内の社員向け研修を実施した。

【開催回数】 4回(社員～経営者、メンター向け研修)

【参加人数】 73名

<中小企業の事業承継等による就労の受け皿づくり>

●事業承継・人材確保

・企業に対する事業承継への支援や人材確保セミナーの開催

事業承継支援事業では、山口市事業承継支援協議会として中小企業支援機関の連携により、市内の事業承継を促進し、後継者不足の改善や事業承継支援事業計画策定等支援メニューの活用促進、支援機関向けの研修会や事業者向けのセミナーを開催した。

人材確保採用力アップセミナーでは、市内企業に対して採用の応募を集めるコツや離職を防止する事例を紹介し、採用力の向上を図った。

【活動実績】専門家派遣 8件 事業承継に関する対面ヒアリング36件 など

【セミナー開催回数】事業承継:1回 人材確保採用力アップ:2回

【セミナー参加人数】事業承継:64名 人材確保採用力アップ:18名

●市内企業のDX化促進事業

・市内企業のDX活用を促進するためのセミナー開催や専門家派遣

山口県央連携都市圏域の中小企業・小規模事業者・市内創業予定者を対象として、DXを促進するためのセミナーや相談会の開催及び専門家派遣を実施した。デジタルツールの紹介といった基本的な内容から、各事業者の状況に応じた個別対応まで、幅広く継続的に支援を実施し、企業の経営基盤強化や磨き上げに寄与した。

【活動実績】窓口相談 32事業者 専門家派遣 29事業者

セミナー開催回数 6回

セミナー参加人数 138名



<企業の魅力や仕事のやりがい、地方での豊かな暮らしを情報発信>

●シティセールス推進事業

・情報誌「彩都山口」の製作

地域の魅力や資源を収集し、市内外(特に市外)に対し、本市や周辺自治体のイメージを効果的に発信することにより、多くの方が山口市や周辺自治体を訪れ、交流による新たな賑わいと消費を創出することを旨とするとともに、山口市のブランド力の向上や定住人口の増加を目指し、情報誌を制作・発行した。



【制作部数】 14,000部

【配布先】

- (1) 市内を中心とした県内の公共施設、観光施設、観光案内所、医療機関(小児科)等
- (2) 県内及び近県の道の駅、おいでませ山口館等
- (3) 市外在住の市出身者(山口七夕会)やふるさとやまぐち寄附金実施者等

<定着志向性の醸成>

●若者による市の魅力発信事業

・山口市で暮らす魅力、働く魅力の発信

若者による市の魅力発信事業では、山口市で暮らす魅力、働く魅力を、ケーブルテレビ局の市政広報番組を通じて発信した。本事業に参加した学生たちは、ケーブルテレビ局のディレクター、山口市広報広聴課職員とともに、番組内容の企画、制作に取り組んだ。制作した番組は、ケーブルテレビ局で放送したほか、山口市公式 YouTube チャンネルでも配信した。

【実施内容】テレビ番組の企画、制作、出演

【参加者数】2名(山口大学2人)

【制作本数】1本

【放送期間】11月1日から15日までの毎日



●やまぐち定住実現プロモーション事業

・移住オンラインイベントの開催

県外に進学・就職した若者等に向けて、本市の住環境や農林水産業や商工業への就業、起業創業に関する情報を発信するオンライン上でのWebセミナーを開催した。

セミナー開催数:4回

視聴者数:35名



域外から稼ぐ力を生み出す「新たな産業・交流拠点」づくり推進事業

1 事業の概要

所管課	商工振興部ふるさと産業振興課	計画期間	令和2年4月 - 令和5年3月
交付金の種類	地方創生推進交付金	単独事業と 広域事業の別	広域 (山口県、山口市、萩市、長門市)
政策目標	地域の特性に応じた持続可能な都市圏・生活圏の形成	政策目標	山口の魅力に磨きをかけ、新たな「ひと」の流れをつくる
具体的な施策	将来を担う子どもたちを育む「教育・子育てなら山口」	具体的な施策	山口の個性を高め暮らしを楽しむ「文化・観光・スポーツなら山口」
具体的な取組	高次の都市機能の集積や提供	具体的な取組	おいでませ山口・観光地域づくり
政策目標		政策目標	
具体的な施策		具体的な施策	
具体的な取組		具体的な取組	
事業の概要(目的)		事業実施の状況	
<p>令和3年度に供用開始した山口市産業交流拠点施設を核に、交流人口の拡大、ヘルスケア・モビリティサービスなどの新産業の創出やDX導入促進などの産業支援機能強化、人材育成などの取り組みを一体的に進めることにより、拠点施設のイメージアップ、利用促進などを通じて、地域のブランド力の向上を図るとともに、新産業の創出を通じて、若者・女性に魅力あるサービス分野での雇用の場の創出を図る。</p>		<p>■次世代型スマートホール(=多目的ホール)の運営 ・山口市産業交流拠点施設の管理運営を開始 ・開館及びグランドオープンを記念し、複数イベントを連続的に実施 ■産業交流スペースによる5G等未来技術の活用支援及びDX導入促進を目指した産業支援の機能強化 ・産業交流スペースにおいて、起業・創業支援や中小企業支援、DX導入支援等を実施 ・デジタル人材の発掘や育成等を実施 ■AI技術等の活用によるヘルスケア関連産業創出事業(県への負担金) ・「やまぐちヘルスケア関連産業推進協議会」の運営 ・「やまぐちヘルスラボ」を設置し、企業が行うヘルスケア関連製品・サービスの事業化を支援 ・令和2年度に引き続き、島津製作所等6者合意に基づく地域コホート研究事業を実施(阿知須地域) ■アカデミーハウス次世代人材育成推進事業 ・哲学ベース時間共有型キャリア開発「P.C.Tプログラム」を実施 ・アカデミーハウス利用者のOB・OG会「やまぐちNEXTリーダー運営委員会」を設置。 ■新たなモビリティサービス調査・実証事業 ・新たなモビリティサービスの需要の検証及び実証実験を実施</p>	
事業の概要(経費内訳)			
<p>・次世代型スマートホール(=多目的ホール)の運営(25,085千円) ・産業交流スペースによる5G等未来技術の活用支援及びDX導入促進を目指した産業支援の機能強化(58,328千円) ・AI技術等の活用によるヘルスケア関連産業創出事業(18,771千円) ・アカデミーハウス次世代人材育成推進事業(26,300千円) ・新たなモビリティサービス調査・実証事業等(28,311千円)</p>			

2 本事業における重要業績評価指標(KPI)の達成状況

(1)KPIの達成状況

KPI項目		単位	事業開始前	実績値(増分) (令和2年度)	実績値(増分) (令和3年度)	目標値(増分) (令和3年度)
①	本取組等の効果による事業化件数	件	0	0	4	8
②	施設利用者数(年間) ※次世代型スマートホール、ライフイノベーションラボ、アカデミーハウス等	人	0	0	262,426	357,000
③	本取組等による実証事業の実施件数(ヘルスケア関連産業創出事業)	件	0	1	1	3
④	本取組等による実証事業の実施件数(新たなモビリティサービス調査・実証事業)	件	0	3	3	3

(2)評価

本事業の実施状況について			
事業効果	本事業は地方創生に相当程度効果があった。	理由	産業交流拠点施設は、当初の予定どおり、令和3年4月に開館を迎え、施設を起点とした新たなにぎわいの創出や産業の創出の拡大につながっている。 また、新たなモビリティサービスについては、観光時のみならず、日常生活の移動の選択肢が広がり、一定程度の市内回遊が促された。
実績値を踏まえた事業の今後について			
今後の方針	事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる。	理由	産業交流拠点施設は、産業と交流をキーワードにした様々な機能で構成される施設であり、施設利用者の更なる獲得、長期的な視点での新たな施設需要の拡大等に着実につなげる取組を実施することで、新たな産業・雇用の創出につながるとともに、交流人口の増大などによる地域経済の更なる活性化を図るため。

【令和3年度取組実績】

域外から稼ぐ力を生み出す「新たな産業・交流拠点」づくり推進事業

【次世代型スマートホール(=多目的ホール)の運営】

●広域県央中核都市の実現に向け、県の陸の玄関口にふさわしい「山口県ナンバーワンのビジネス拠点」の形成を図るため、「産業」「にぎわい」「生活文化」の3つの創造の視点により整備した「山口市産業交流拠点施設」の管理運営を開始。

●開館及びグランドオープンを記念し、施設の周知やブランディング等を目的に、各指定管理者と連携し、以下の6イベントを連続的に実施。

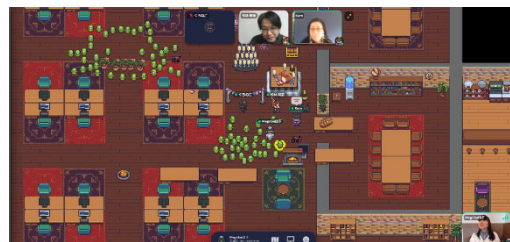
- ・令和3年6月26日 グランドオープン式典
- ・令和3年6月25日 AIコンサート
- ・令和3年8月11日～26日 きかんしゃトーマス展
- ・令和3年10月24日 メディフィットラボ記念イベント
- ・令和4年3月14日 メグリバ記念イベント
- ・令和4年3月21日 アカデミーハウス記念イベント
(兼アカデミーハウス成果発表会)



【産業交流スペースによる5G等未来技術の活用支援及びDX導入促進を目指した産業支援の機能強化】

●山口市産業交流拠点施設内に設置した「産業交流スペース」の管理運営を開始。起業・創業支援や中小企業支援を実施し、第3次産業を中心としたDX導入による生産性向上や事業承継、新事業創出の促進を図った。

●デジタル技術の活用や人材ネットワークの形成を目的として、企業や大学、エンジニアなどのデジタル人材の発掘や育成、さらには、こうした人材が活躍する環境づくりとして、外需獲得及び内需喚起の取り組みを行い、仕事の創出を図った。



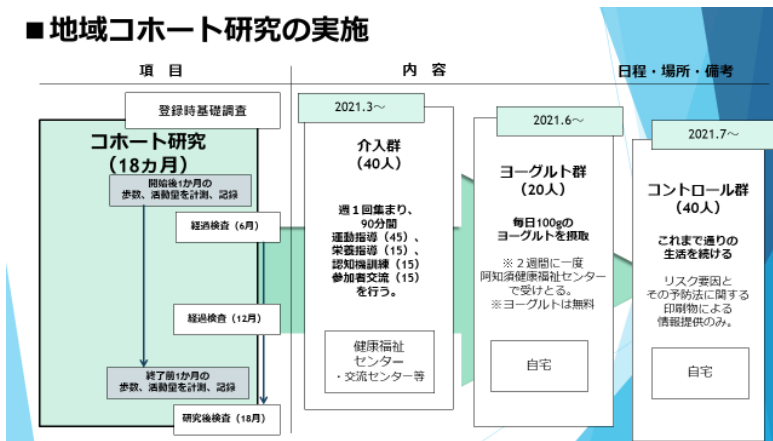
【AI技術等の活用によるヘルスケア関連産業創出事業】(山口県への負担金)

●県内におけるヘルスケア関連産業の創出・育成の推進母体として産学公で構成される、「やまぐちヘルスケア関連産産推進協議会」の運営を行った。

●企業が行うヘルスケア関連製品・サービスの事業化支援を行う「やまぐちヘルスラボ」において、相談対応(21社)やモニター実証支援(1件)、イベント開催(1回)を行った。

●令和2年度に引き続き、島津製作所等6者合意に基づく地域コホート研究事業を阿知須地域において実施した。

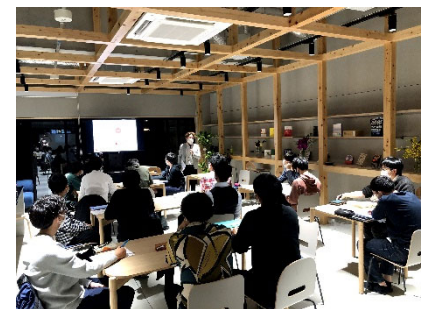
■地域コホート研究の実施



【アカデミーハウス次世代人材育成推進事業】

●哲学をベースとした時間共有型のキャリア開発「P. C. Tプログラム」としてPBLプログラムやキャリアデザイン、哲学カフェ、スマートキャリアサロン等を実施。

●アカデミーハウス利用者に対するフォローアップとして、次世代リーダーとして学び、成長し続ける機会の提供等を目的に、OB・OG会「やまぐちNEXTリーダー運営委員会」を組織した。

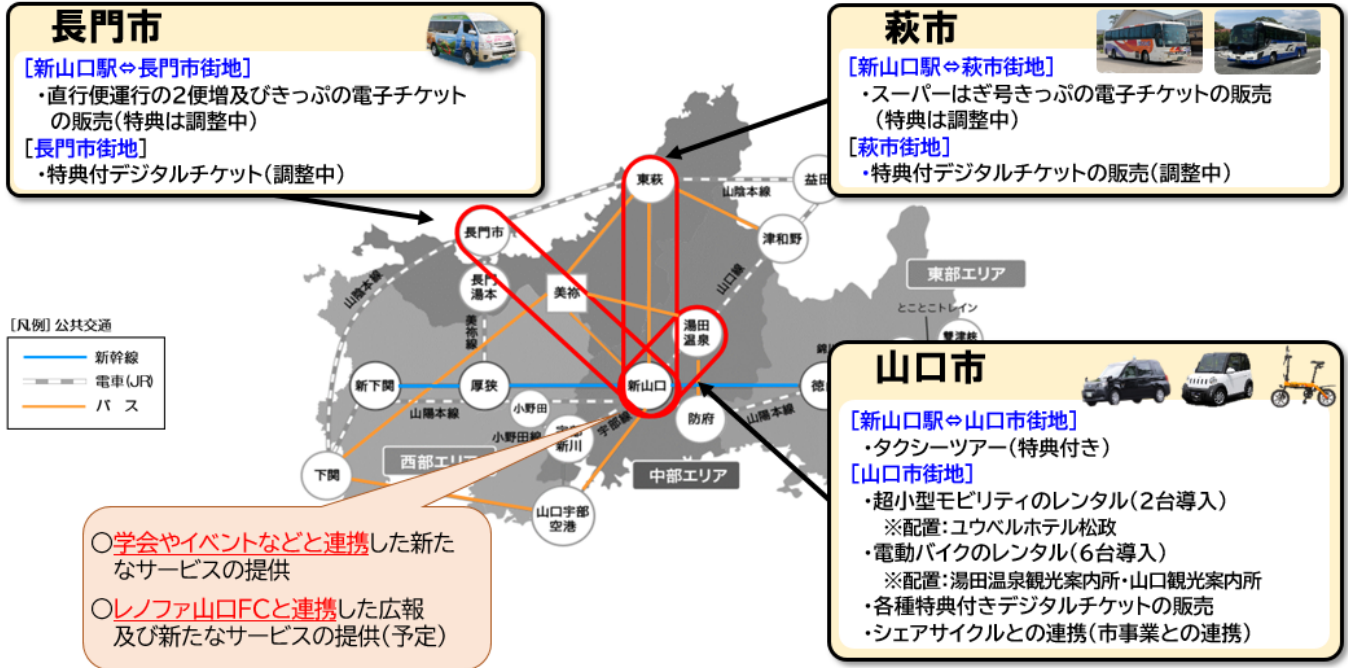


【新たなモビリティサービス調査・実証事業】 (別紙)

令和3年度 新たなモビリティサービス調査・実証事業

事業概要

- 新モビリティサービス実証事業推進協議会(21団体)の運営
- やまぐちMaaS用Webアプリ「ぶらやま」の機能拡充(操作性、デザイン性)
- 新たなビジネスモデルの構築(移動サービスと多様なサービスとの組合せ)
- 実証実験の実施
 - 対象エリア:新山口駅~山口・萩・長門エリア
 - 実験期間 : 令和3年7月初旬~令和4年3月末まで
- 交通機関等の利用状況調査(アンケート等)及び実験後の効果検証



①超小型モビリティのレンタル

乗車定員:2名
 最高速度:45km/h
 一充電走行距離:約130km
 (利用条件により異なる)
 ※配置:ユウバルホテル松政(2台)



②電動バイクのレンタル

乗車定員:1名
 最高速度:30km/h
 一充電走行距離:約30km
 (利用条件により異なる)
 ※配置:湯田温泉観光案内所(3台)
 山口観光案内所(3台)



③タクシーツアー「湯田温泉直行便」の運行

予約方法

時刻表

出発	到着
14:00	14:00 - 14:10
15:00	15:00 - 15:10
16:00	16:00 - 16:10
17:00	17:00 - 17:10
18:00	18:00 - 18:10
19:00	19:00 - 19:10
20:00	20:00 - 20:10
21:00	21:00 - 21:10

料金(片道/一人乗)

1,500円

④デジタルチケットの販売

	チケット名	売上数
イベント関連	① きかんしゃトーマスとなかまたち わくわくフェスティバル	727枚
	② リラックマ&すみっこぐらしフェスティバル	377枚
	③ 山チヨス食べ歩きSunday湯田温泉	150枚
	④ レノファ山口感謝祭	520枚
	⑤ 夏・秋子供体験(大内塗り、外郎作り、浴衣着付け、萩焼など)	92枚
	⑥ 賛沢ぶら旅セット	123枚
交通関連(特典付)	⑦ 乗合タクシーツアー	14枚
	⑧ 超小型モビリティのレンタル	27件
	⑨ 電動バイクのレンタル	77件
	⑩ 山口市内のる得きっぷ(バス)	175枚
	⑪ ぶらレノ(防長バス1日乗り放題及びドリンク1杯サービス付)※レノファ山口ホームゲームとの連携	378枚
	⑫ スーパーはぎ号きっぷ(バス)	153枚
	⑬ ジャンボタクシー長門市直行便きっぷ	130枚

次世代へつなぐ商店街づくり加速化プロジェクト

1 事業の概要

所管課	商工振興部中心市街地活性化推進室	計画期間	令和3年4月 - 令和6年3月
交付金の種類	地方創生推進交付金	単独事業と 広域事業の別	市単(山口市)
政策目標	地域の特性に応じた持続可能な都市圏・生活圏の形成	政策目標	
具体的な施策	魅力あふれる県都づくり「広域県央中核都市づくり」	具体的な施策	
具体的な取組	高次の都市機能の集積や提供	具体的な取組	
政策目標		政策目標	
具体的な施策		具体的な施策	
具体的な取組		具体的な取組	
事業の概要(目的)		事業実施の状況	
<p>(1)既存ストックを活用したまちの再生 まちづくり事業者が商店街関係者等と連携し、遊休不動産の再生を進め効果的にエリア価値の向上を図る。</p> <p>(2)求心力のある商業・業務エリアの形成による生産性の向上 デジタル技術の活用等とともに、中心商店街全体の生産性を向上を図り経済基盤を強化する。</p> <p>(3)中心商店街の新たな価値創出によるまちの活性化 商業活動に限らない多様な活動の支援を通じ、中心商店街を「豊かな生活を支える場」としてゆくことで、新たな需要や来街者を生み出し、恒常的な賑わいの創出と回遊性の向上を図る。</p>		<p>(1)既存ストックを活用したまちの再生 ・遊休不動産の活用に向けた具体策の検討や関係者との情報共有、店舗改修に向けた建物状況調査等の実施に関する周知等を行った。</p> <p>(2)求心力のある商業・業務エリアの形成による生産性の向上 ・「稼ぐ力」の向上につながる勉強会やセミナー等開催した。また、中心市街地活性化に関する取組について、広報紙の発行やwebサイト、SNS等により、広く市民に情報発信を行った。</p> <p>(3)中心商店街の新たな価値創出によるまちの活性化 ・山口井筒屋2階に地域の魅力発信・交流スペース「コトサイト」を開設し、市内の魅力ある特産品の販売・情報発信や、主に子ども向けのイベントやアクティビティの提供を行った。 ・VIVISTOP mini in YAMAGUCHIの運営を通じて、中心商店街全体を活動のフィールドとし、子ども達がものづくりを通じて地域とつながる活動を行った。 ・新たなヤマグチブランド創出のための取組に対する支援を行った。 ・中心商店街に「創業」を体験できるチャレンジショップを開設した。 ・新たな来街者を呼び込むためのイベント開催や情報発信、中心商店街におけるイベント等に対する支援を行った。</p>	
事業の概要(経費内訳)			
<ul style="list-style-type: none"> ・中心市街地維持・再生支援事業 297千円 ・中心商店街稼ぐ力向上支援事業 616千円 ・中心商店街情報発信事業 2,002千円 ・多様な魅力あふれる商店街推進事業 20,000千円 ・まちなかクリエイティブフィールド事業 14,510千円 ・ヤマグチブランド創出事業 3,000千円 ・まちなか起業創業促進事業 4,670千円 ・中心商店街賑わい創出事業 8,655千円 			

2 本事業における重要業績評価指標(KPI)の達成状況

(1)KPIの達成状況

KPI項目	単位	事業開始前	実績値(増分) (令和3年度)	目標値(増分) (令和3年度)
① 中心商店街に新規出店した店舗の1日当たりの平均来店者数合計	人	-	0	512
② 中心商店街の来街者数(平日・イベントのない休日平均)	人	-	34,700	-4,144
③ 商店街滞在時間(1時間30分)以上の割合	%	-	39.8	-17

(2)評価

本事業の実施状況について			
事業効果	本事業は地方創生に効果があった。	理由	新型コロナウイルスの感染拡大は商店街への来街者数や滞在時間の増加を図る上で大きなマイナス要因となった。一方、県外への移動規制などによる中心商店街への人流回帰の兆候も見られ、感染状況が落ち着いた時期などを見極めながら効果的に事業を実施することで、KPIも一部達成することができた。
実績値を踏まえた事業の今後について			
今後の方針	事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる。	理由	中心商店街活性化に向けた取組については、効果の発現に時間を要するため、一過性の取組にならないように、積み重ねと発展が求められるため。

次世代へつなぐ商店街づくり加速化プロジェクトの概要

(1) 既存ストックを活用したまちの再生

① 中心市街地維持・再生支援事業

「まちなみ規範」策定予定エリアにおいて店舗の連続性を確保しにぎわいの創出を図るため、遊休不動産の活用に向けた具体策の検討や関係者との情報共有を行うとともに、店舗改修に向けた建物状況調査等の実施に関する周知等を行いました。

(2) 求心力のある商業・業務エリアの形成による生産性の向上

① 中心商店街稼ぐ力向上支援事業

中心商店街全体の「稼ぐ力」の向上に向けて、店舗向けのディスプレイ・レイアウトセミナーや、繁盛店創出プロジェクトとして、実際の店舗改善を実施しました。

○コトサイト出展事業者へのディスプレイセミナー

【日 時】令和3年11月24日(水)

【会 場】山口井筒屋2階コトサイト

【参加者】4店舗



○店舗改善セミナー

～客動線の考え方と陳列・ディスプレイの基本～

【日 時】令和4年1月10日(月)

【会 場】山口商工会議所5階小ホール

【参加者】6店舗



○店舗改善 繁盛店創出プロジェクト

【開催日】令和4年2月3日(木)他

【会 場】参加店現地

【参加店】モデル店舗:2店(山城屋酒造、未廣)

② 中心商店街情報発信事業

情報誌『くるーニャッ! やまぐち』の発行やweb サイト、SNS 等により、中心市街地における市の事業や新規オープンした店舗等に関する情報を発信しました。



(3) 中心商店街の新たな価値創出によるまちの活性化

① 多様性あふれる商店街推進事業

山口井筒屋2階に地域の魅力発信・交流スペース「コトサイト」を設置しました。常時300冊の絵本や、市内産の木育玩具で遊ぶことができ、約60坪の人工芝の広場では、下記のとおり多彩なイベントを行いました。また、地域の魅力発信コーナーでは、山口市内を中心とした特色ある商品の展示・販売を行いました。

○事業実施スペースの賃貸・改修、設備設置等

○施設運営およびイベント等の実施

- ・萩山口信用金庫実践型マーケティング講座 実践販売(11/25~12/5)
- ・猫写真家 沖 昌之氏写真展およびトークショー(12/28~1/10)
- ・ミズノ(株)による親子スポーツ体験イベントプレイヤー+、プレイパーク(11/25、1/9)
- ・全国ヨーグルトサミット(1/14~1/16)
- ・子ども向けサッカー教室(1/16)
- ・赤ちゃんハイハイレース(3/6)

②まちなかクリエイティブフィールド事業

道場門前の VIVISTOP mini in YAMAGUCHI において、中心商店街全体を活動のフィールドとし、子ども達がものづくりを通じて地域とつながる活動を行いました。



③ヤマグチブランド創出事業

新たなヤマグチブランド創出のため、商工会議所が主催する Chocofuror Yamaguchi!チョコレートイベントへの補助金を交付しました。補助金を活用して、山口井筒屋5階でのチョコレート物産イベント、中心商店街のチョコレート模様のペナントによる装飾、チョコレートワークショップの開催や商品情報 MAP の作成等が行われました。



④まちなか起業創業促進事業

中心商店街の mirai365内に、まちなか起業に向けて若い創業者等が集い繋がる場、また「起業」を体験できるチャレンジショップを開設しました。

⑤中心商店街賑わい創出事業

新たな来街者を呼び込み商店街全体の集客に結びつけるため、百貨店や高等学校等と連携し、にぎわいの創出、回遊性の向上を図るイベントの実施や情報発信を行いました。

- ・中心商店街「美」マップ作成
- ・第2回山口まちゼミ(10/1~10/31)
- ・商店街学生サポーターズ事業
- ・おいでーね!やまぐちしょっぴ!
- 山口井筒屋チャレンジショップ(毎月第1日曜)
- ・地域おこし協力隊と巡る 街歩きツアー
サイクリングでパン屋さん巡りツアー、
商店街&路地裏探索ツアー
- ・シャッターアート商店街(11/23~11/28)
- ・山農マルシェ(12/18)
- ・地域の魅力発信・交流スペース「コトサイト」活用事業



⑥中心商店街を舞台としたイベント等実施主体に対する支援(補助事業)

- ・チョコフロール(山口市商店街連合会)
- ・ハロウィンコンテスト(サークルセブン)
- ・コメコメマルシェ(米屋町商店街)
- ・100円商店街(西門前商店街)



人生100年時代を楽しむ21の幸せ地域拠点づくり ～Jリーグクラブ「レノファ山口」のつなぐ力でスマート”ライフ”シティづくり～

1 事業の概要

所管課	交流創造部湯田温泉パーク整備推進室	計画期間	令和3年4月 - 令和6年3月
交付金の種類	地方創生推進交付金	単独事業と 広域事業の別	市単(山口市)
政策目標	山口の魅力に磨きをかけ、新たな「ひと」の流れをつくる	政策目標	地域の特性に応じた持続可能な都市圏・生活圏の形成
具体的な施策	協働による「個性と安心の21地域づくり」	具体的な施策	生涯にわたって元気に暮らす「健康長寿のまち」
具体的な取組	協働によるまちづくり	具体的な取組	健康都市づくりの推進
政策目標		政策目標	
具体的な施策		具体的な施策	
具体的な取組		具体的な取組	
事業の概要(目的)		事業実施の状況	
<p>プロサッカークラブ「レノファ山口FC」のもつ集客力や多くのスポンサー企業等の民間企業とのつながり、また、県内における知名度や影響力など、プロスポーツクラブならではのリソースを活用し、人生100年時代において、市内全21地域が住み慣れた地域住民にとって心身共に健康で、生きがいをもって楽しく暮らし続けることができるまちとなるよう、各地域で多様で持続可能な事業展開が可能となる仕組みづくりを行うとともに、市内21地域と企業を結び付け、自立し、自走できる21地域ごとの幸せコンテンツを構築する。</p>		<p>◆地域と企業をつなぐ公民連携プラットフォームの構築 ・公民連携プラットフォームの構築に向けた公民連携による協議の実施 ・公民連携した情報発信ツールの検討 ・山口市21地域の情報発信を考える「ワークショップ」の開催 3月16日 参加者約15人 カリエンテ山口 ・吉敷みらい会議プロジェクト 12月～3月計5回のみらい会議の実施 3月23日 レノファが繋ぐ 地域と企業の新たなまちづくりイベント～山口市吉敷編～YouTubeライブ配信の実施 ◆レノファ山口PV開催等による全世代交流事業の実施 ・徳地地域の方々とパブリックビューイング・レノ丸との撮影会 11月7日 参加者数約20人 防府高校佐波分校 ◆企業と連携した健康づくり事業の実施 ・徳地ゆるるスポーツ地域交流事業 11月17日 参加者約50人 徳地サッカー交流広場 ・カムカムスポーツimあいお 2月23日 参加者数約50人 秋穂地域交流センター ◆21地域ご当地レノ丸作成を通じた地域への愛着の醸成 ・湯田・徳地・平川地域において、ご当地レノ丸を作成</p>	
事業の概要(経費内訳)			
<ul style="list-style-type: none"> ・地域と企業をつなぐ公民連携プラットフォームの構築 17,880千円 ・レノファ山口PV開催等による全世代交流事業の実施 985千円 ・企業と連携した健康づくり事業の実施 315千円 ・21地域ご当地レノ丸作成を通じた地域への愛着の醸成 820千円 			

2 本事業における重要業績評価指標(KPI)の達成状況

(1)KPIの達成状況

KPI項目		単位		事業開始前	実績値(増分) (令和3年度)	目標値(増分) (令和3年度)
①	地域行事や市民活動に年1回以上参加している市民の割合	%	-	54.2	-11.4	1.4
②	本事業を実施する地域の増加数	地域	-	0	6	2
③	本事業に参画する企業数	件	-	0	6	2
④	本事業を通じた健康づくり等のプログラムへの参加者数	人	-	0	134	200

(2)評価

本事業の実施状況について			
事業効果	本事業は地方創生に相当程度効果があった。	理由	新型コロナウイルス感染症の影響により、行事の回数や参加人数は制限されたものの、レノファ山口の持つマスコットキャラクターや広報媒体、スポンサー等のリソースを活用し、市内の各地域に合った取組を住民主体で考え、地元企業等との連携のもとで実行することにより、地域への愛着醸成に寄与するとともに、公民連携による取組が実施できたため。
実績値を踏まえた事業の今後について			
今後の方針	事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる。	理由	令和4年度は、令和3年度に実施を見送った地域で事業を展開するとともに、令和6年に完成予定の(仮称)湯田温泉パークでの事業展開を見据え、湯田地域において、レノファ山口のリソースを活用しながら、官民連携した持続可能な事業展開を重点的に取り組む。

【令和3年度取組実績】

人生100年時代を楽しむ 21 の幸せ地域拠点づくり
 ～Jリーグクラブ「レノファ山口」のつなぐ力でスマート“ライフ”シティづくり～の概要

<地域と企業をつなぐ公民連携プラットフォームの構築>

●公民連携プラットフォームの構築に向けた公民連携による協議の実施

◆ 公民連携プラットフォームの構築に向けて、レノファ山口を中心に、県内外の企業等と11回の協議を行い、レノファ山口をハブとして、そのリソースを活用しながら、市民主導による官民共創による事業に取り組むこととした。その先行事例として、吉敷地域において、吉敷地域づくり協議会を始め、レノファ山口や(株)秋川牧園などの県内外の企業と連携して、吉敷みらい会議を実施し、官民共創による「吉敷地域を発信するYouTubu発信イベント」を開催した。



「レノファ社会連携リング」の創出・促進
 市民、行政、企業などが連携し、共通テーマを設定。
 レノファの資源を活かし、価値創出を行う。

スポーツを活用した、
 新しい市民協働・官民連携モデルの創出へ

新たな仲間と、新たな未来へ
レノファ山口 吉敷みらい会議

これまで山口県内で様々な地域活動を行ってきたレノファ山口。今回は、レノファ山口がつながる企業や学生と連携して吉敷の地域の皆さまと一緒に、「楽しみながら、吉敷のまちづくりについて対話する企画です。」

目的

- 吉敷地域に新しい住民が暮らす中、まちづくりの担い手にも新たなメンバーとして迎え入れ、吉敷地域の活性化を助けていざいと考えています。
- レノファ山口は地域のパートナー企業や大学と連携したまちづくり活動をはじめており、吉敷地域とレノファ山口で新たなまちづくりの取組を行なうことになりました。

内容

- レノファ山口と連携する企業や学生（記者）と、吉敷の地域の皆さまと一緒に、吉敷地域の活性化につながるアイデアを考え、小さく実行し、新しいまちづくりのモデルを発見します。

参加メンバー

- 吉敷地域の皆さま、レノファ山口、レノファ山口企業パートナー（秋川牧園、マックスパルージャパン、株式会社立命館など）、学生メンバー

スケジュール

- 1月中旬：キックオフ会議
- 2月中旬：公開企画ホーム観戦ツアー
- 3月中旬：企画事業実行
- 3月下旬：ふたつある次年度計画会議
- 4月以降：決年度企画検討・実施

※詳細はホームページにてご確認ください。



**レノファが繋ぐ
 地域と企業の新たなまちづくりイベント
 ～#01 山口市 吉敷編～**

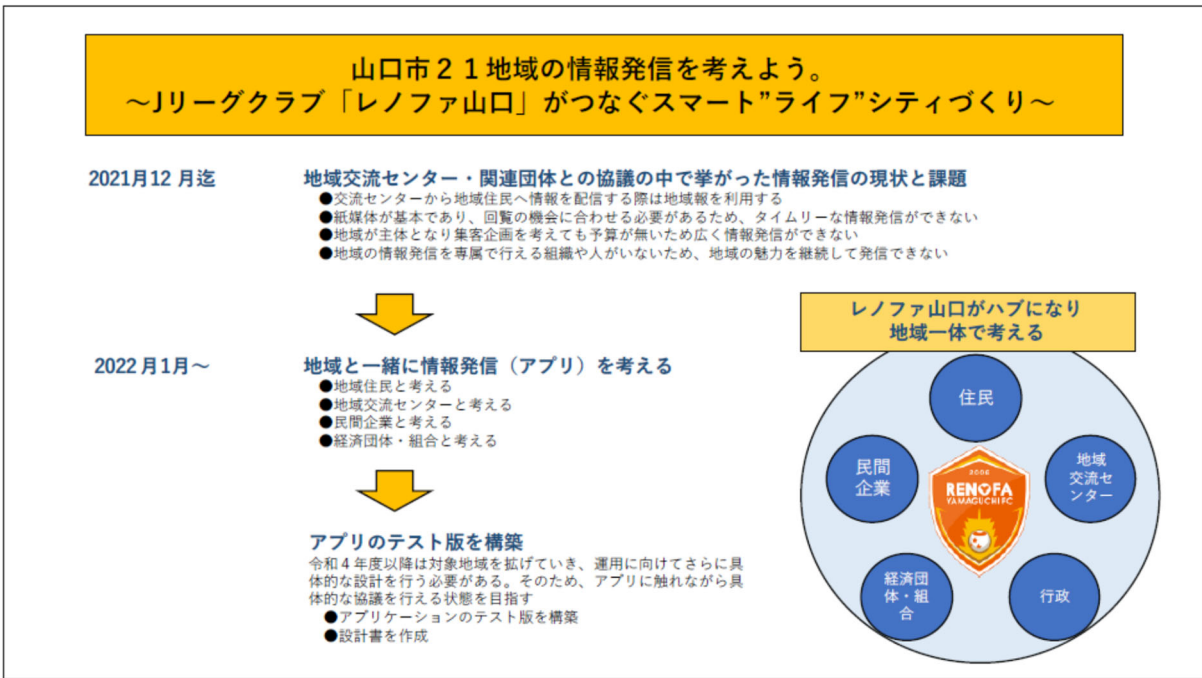
2022.03.23 (Wed) 19:30～
 - ON AIR -



YouTubeリンク
<https://youtu.be/Xcl0VRM6QXo>

1,117 回視聴(2022.04.20)

- ◆ 公民連携プラットフォームの構築の検討を進める中で課題として挙げられた、「地域の情報発信」について深掘し、アプリケーションの開発を通じて課題解決に向けて、令和4年3月16日に山口市21地域の情報発信を考えるワークショップを開催した。



●レノファ山口PV開催等による全世代交流事業の実施

- ◆ 徳地地域において、防府高校佐波分校と連携して、11月7日に佐波分校体育館で、J2リーグレノファ山口VS大宮アルディージャのパブリックビューイング及びレノ丸との撮影会を開催し、徳地地域住民約20人が参加した。



佐波分校文化ウィーク

レノ丸とパブリック・ビューイング 11月7日(日) 14時～ 佐波分校体育館

③ レノファ山口 VS 大宮アルディージャ
13時30分 開場・受付(入場無料)
(参加を希望される方は、下部の注意を熟読してお申し込みください。)
14時00分 試合開始
15時00分 終了予定
(試合終了後は、レノ丸と記念写真が撮れます。)
いよいよレノファ山口FCが開幕戦を迎えます。お祭り気分を盛り上げるべく、山形県初のパブリックビューイングを開催します。山形県初のパブリックビューイングを開催します。山形県初のパブリックビューイングを開催します。

※レノファ山口 FC 山形県 徳地地域づくり協議会

佐波分校文化祭2021 11月13日(土) 9時～13時 佐波分校

咲かせよう絆の輪
～ はじけちゆるーで!! ～
9時～11時30分 体育館ステージ発表(観覧者の方のみ観覧できます。)
11時30分～13時 教室展示(徳地地域在住の方も入場できます。)

キッチンカー・コーナー
10時30分～13時 佐波分校前庭
レノ丸と写真を撮ろう!
11時30分～12時 佐波分校前庭

※レノファ山口 FC 山形県 徳地地域づくり協議会

【ご注意】新型コロナウイルス感染症の対策のため、それぞれの選手の入室には、人数制限を設けています。また、入室の際は、受付で健康チェック(体温測定・手洗い消毒等)および居住地・氏名・連絡番号を登録の上、リストバンドの着用にご協力ください。お帰りは下記指定校まで。

山口県立防府高等学校佐波分校 0835-52-1311

なお、ご来場時、マスクの着用や体調の悪化等に関する御注意をさせていただきます。撮影の禁止のある方や、マスクを着用していない方は、入室をお断りいたしますので御注意ください。また、感染防止の事由により、中止となる場合がございます。ご了承ください。

●企業と連携した健康づくり事業の実施

- ◆ 11月7日に徳地地域を始め、防府高校佐波分校やレノファ山口、市内企業と連携して、地域の健康づくりや、地域の小学生・高校生・大人の多世代交流を目的とした「徳地ゆるスポーツ地域交流事業」を徳地サッカー交流広場で実施し、徳地八坂地区の方や防府高校佐波分校、八坂小学校の生徒など、約50人が参加した。



- ◆ 「子ども達が、1つだけでなく、様々なスポーツを体験する機会が欲しい」という、秋穂地域の保護者の方々の意見をもとに秋穂地域を始め、レノファ山口や市内企業と連携して企画した「カムカムスポーツ in あいお」を2月23日に秋穂地域交流センターで開催し、秋穂地域の小学生など約50人が参加した。



●21 地域ご当地レノ丸作成を通じた地域への愛着の醸成

- ◆ 地域の愛着を高める取組の一つとして、湯田、徳地、平川地域において、ご当地レノ丸の作成を行った。



湯田地域



徳地地域



平川地域